

空き家を「ジブンゴト」にする啓発アクションブック完成

～地域発の空き家対策！ マンガ「その空き家どうする？」で但東の未来へ～

たんとう未来会議では、空き家予備軍への早期対策として、マンガ形式の啓発アクションブック「その空き家どうする？」を発行した。高齢の独居世帯を主な対象に、家族で住まいの将来を話し合い、適切な管理を促す内容である。この取り組みは、管理されていない空き家が近隣で増え始めたことを地域の課題と捉えた住民の提案により、市が支援する形で実現した。

1 背景・課題

- (1) 但東地域で空き家が増加し、空き家になる前の「空き家予備軍」対策が喫緊の課題。
- (2) 実家への愛着、相続制度の複雑さが所有者の売却や取り壊しなどの決断を「行動停止」させ、管理不全の空き家による住環境の悪化が懸念されている。
- (3) 空き家に対する住民の意識改革（ジブンゴト化）が必須となる。
- (4) これらの障壁を打ち破る新たな啓発手法が必要と判断し、地域住民の発意でアクションブックの作成を行った。

2 アクションブックの概要と目的

- (1) 作成主体：たんとう未来会議（住宅支援グループ）
- (2) アクションブック：マンガ「その空き家どうする？」
- (3) ターゲット：空き家予備軍の所有者、実家を相続する次世代住民。
- (4) 主な目的：
 - ア 意識改革：空き家は「地域の財産にも負債にもなりうる」と認識してもらう。
 - イ 行動促進：マンガで心理的障壁を取り除き、早めの対策と家族会議を促す。

3 今後の展開と効果

- (1) 今後の進め方
 - ア 地区コミュニティでの一次相談窓口の設置
 - イ 地区コミュニティや区長会と連携し、アクションブックを教材とした住民参加型の講演会・座談会を順次開催
 - ウ 講演会では、アクションブックを活用しながら、空き家の管理や住まいの将来について住民が自分事として考える機会を提供
- (2) 周知のタイミング
 - ア 記者会見後、市ホームページにて公開
 - イ 12月3日19時より合橋地区コミュニティセンターにて、また12月21日19時より資母地区コミュニティセンターにて空き家講演会を開催し、アクションブックの周知を図る。
 - ウ 12月25日発行の市広報に併せて、但東地域の全世帯（約1,500部）へ配布
 - ▶年末年始の帰省時期に合わせて配布し、家族で住まいの将来を考える機会を促す。

(3) 期待される効果

- ア 空き家の流通による移住者の増加
- イ 適切な管理の実施による負動産化の防止と資産価値の維持
- ウ 管理不全空き家の早期除却

(4) 全市的な展開

- ア アクションブックの内容は但東地域に限らず、市内全域で活用可能
- イ 市が版權を保有しているため、問い合わせ先を変更すれば、市内全域での活用が可能

【たんと未来会議】但東地域の企業・住民・行政・コミュニティ組織が参画する官民共創組織。地域の人口減少対策を主目的とし、空き家対策などの課題解決モデルを創出・推進している。但東振興局が運営を支援

〔問合せ〕 豊岡市但東振興局地域振興課 TEL 0796-21-9032（直通）
担当 田中（内線 5812）